

## 回遊性の向上

### スマートフォン向けゲーム『Pokémon GO』に太宰府市公式ルートが登場

スマートフォン向けゲーム『Pokémon GO』内に自治体による公式ルートが登場しました。今回、その第一弾として全国から選定された5自治体の1つに本市が選定されました。

本市の公式ルート「令和の都だざいふ周遊コース」は、古代大宰府に当時の外国使節が歩いたとされる客館跡から大宰府政庁跡までの約1kmのコースで、日本遺産「古代日本の『西の都』」に認定された史跡・文化財を巡ります。

国内外の多くの『Pokémon GO』ユーザーに、実際に現地を歩きながら本市の歴史やストーリーを体験してもらい、本市の魅力の発掘や観光の回遊性向上を目指します。



公式ルートを紹介する様子

©2023 Niantic, Inc. ©2023 Pokémon. ©1995-2023 Nintendo/Creatures Inc. /GAME FREAK inc. ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

## 回遊性の向上 太宰府魅力発信ガイド育成講座を開講しました

市と近隣自治体で認定を受けている日本遺産「西の都」の魅力発信の担い手育成を目的に、日本遺産「西の都」認定太宰府魅力発信ガイド育成講座の第1回を8月25日(金)、プラム・カルコア太宰府で開催しました。

本講座は「西の都」の壮大なストーリーに関する知識の習得とガイド技能向上を目的に、地域活性コンサルタントの佐藤真一さんをコーディネーターに迎え、史跡解説やボランティアガイドとして地域で活動する人を対象に、全5回開催します。最終日には修了証を交付し、日本遺産「西の都」の魅力発信ガイドとして活動することとなっています。



講師の話真剣に聴く受講者

## 団体からの寄贈 筑紫地区建設コンサルタンツ協会が車いすを寄贈

一般社団法人筑紫地区建設コンサルタンツ協会から、8月22日(火)、車いすの寄贈を受けました。車いすは、男女共同参画推進センタールミナスに設置します。

同協会では、地域貢献の一環として、平成15年から毎年筑紫地区の自治体に、車いすなどを寄贈しています。本市もこれまでに車いすや子どもの遊具の寄贈を受け、公共施設で活用しています。



寄贈を受けた車いすと出席者

## 学校法人との連携 筑陽学園中学・高等学校と包括連携協定締結

まちづくりビジョンに則り、地域の活性化や次代を担う世界に羽ばたく人材育成を目的に、学校法人筑陽学園筑陽学園中学・高等学校と8月17日(木)、包括連携協定を締結しました。

新田光太郎理事長は「公私を越えた交流により生徒たちを育てながら、教育のまち太宰府への一助となるよう尽力したい」、代表生徒は「学習の幅が広がり、将来への設計図を描きやすくなる。他校や多世代と交流して学びや発展につなげたい」と心強い言葉がありました。

両者はこれまでも災害時の避難施設利用など、連携を図ってきました。今後もさらなる連携を図り、地域活性化や人材育成に取り組めます。



さらなる連携強化を目指す関係者

# 私のだざいふ

教育委員 <sup>あかさか ひでふみ</sup> 赤坂 秀文さん



教職から離れ、十年余り、時折学校から声がかかり、子どもとの関わりがあるたびに元気をもらいます。ある時、お母さんから子どものことで相談がありました。それは、運動会でスキップで先頭に立って入場しないといけないが、それができないとしょげているとのことでした。

そこで、子どもにスキップをやらしてもらいましたが、うまくできません。やり方のポイントを教えるとあっという間に、上手にリズムカルにスキップができるようになり、笑顔でスキップをしながら、帰っていきました。「運動会では、上手にできたよ」と後日、話してくれました。

教育は、子どもに成功体験をひとつでも多く、支援することが大切だと思います。

<ポイント>

あまり上手にできない人は試してみたらどうでしょう。

片足(もも)を思いきり高く上げ、ジャンプします。次に反対の足(もも)を高く上げ、ジャンプします。高く上げることがポイントです。そして、少しずつ下げていくとすぐにできますよ。

# Contents

目次  
2023年10月号

## 特集

### 【表紙関連】

わたしたちの宝満山…………… 2~5

9月議会市長提案理由説明 … 10~11

ひきこもり状態にある人とその家族への支援 …………… 12

水を大切に 一筑後川の恵みに、ありがとう…………… 13

スポーツ推進委員と一緒に、スポーツの秋にしませんか…………… 14

新型コロナウイルスワクチンの接種について…………… 15

市からのお知らせ…………… 16~19

連載…………… 20~28

なんでも情報コーナー…………… 29~37

太宰府の文化財…………… 38

# 市政ニュース

## 令和の都だざいふ

### シティブランド・ランキング—住みよい街2023—九州沖縄1位に!

日経BP社のシティブランド・ランキング—住みよい街2023—で本市が九州・沖縄で1位、西日本で2位、全国で11位にランクインし、過去最高を記録しました。

令和発祥の地としての注目の影響を受けた2020でも九州沖縄で4位、全国で20位だっただけに、コロナ禍への対策やコロナ後を見据えた本市の取組が着実に花開いてきた手応えを感じています。

「街の歴史・伝統などに関わる文化資源が豊富」はもちろん、「生涯学習プログラムが充実している」「出産・育児・子育て支援の充実」「多様な地域参加の機会がある」なども上位を記録しました。

これからも、大伴旅人公や菅原道真公に代表される古からの太宰府と最新のグルメやスイーツ、子どもの居場所など現代の太宰府の魅力を融合させた「令和の都だざいふ」の取組を進めていきます。



## 令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト



### 令和の都だざいふ旅人の梅クラフトビール完成発表会を開催しました

市内で収穫した梅を使った「令和の都だざいふ旅人の梅クラフトビール」が完成し、製品を企画・販売する株式会社FOURSTARが8月10日(木)、梅クラフトビールをメニューとして提供する知る人ぞ知る名店菊鮨(春日市)で発表会を行いました。

本製品は、「梅」プロジェクトとしては初のクラフトビールで、梅がほのかに香るフルーティーでさっぱりとした逸品です。発表会当日からふるさと納税返礼品としても提供を開始しました。

市内の至る所で梅を愛で、収穫しグルメやスイーツが楽しめる「真の梅のまち」へ向け前進を続ける「梅」プロジェクトに引き続き注目してください。



完成した梅クラフトビール

## 友好都市交流

### 大分県中津市の中津祇園で観光PR

来年度、友好都市締結10周年を迎える中津市で開催された中津祇園で、7月29日(土)に副市長を始めとする職員が本市の観光PRを行いました。

本年7月におきた豪雨による被災に対するお見舞いの意を表すとともに、今後さらに両市の絆が深まることを願って交流しました。



本市の魅力をもPRする様子

# まちのトピックス

## 世界に羽ばたく人材育成

### 第6回世界デフバドミントン選手権大会準優勝報告

7月にブラジルで開催された第6回世界デフバドミントン選手権大会で日本代表が混合団体戦で準優勝し、出場選手である本市在住の矢ヶ部紋可さん、真衣さん姉妹が8月25日(金)に表敬訪問しました。

大会ではこのほかにも、矢ヶ部姉妹が出場した女子ダブルスでベスト8入賞、ユース大会で真衣さんが女子ダブルス、混合ダブルスで優勝するなど、優秀な成績を収めました。

2人は「2位という結果に誇りを持っていますが、2025年デフリンピックでは優勝したいです」と次なる目標を語りました。楠田市長は「東京デフリンピックはぜひ応援に行きたい。市をあげて応援しますので、金メダル目指して頑張ってください」と激励の言葉をかけました。



輝かしい成績を報告した矢ヶ部姉妹(前列左が真衣さん、前列右が紋可さん)

## 世界に羽ばたく人材育成

### 全国高校総体 少林寺拳法女子単独演武で優勝

筑陽学園高校2年生の桑野愛心さんが、7月23日(日)に北海道で開催された全国高校総体(インターハイ)少林寺拳法女子単独演武で優勝したことを報告するため、8月21日(月)に表敬訪問しました。

桑野さんは「3年生の出場者が多い中、2年生というプレッシャーに負けそうにもなったが、結果を残せて嬉しいです」と現在の心境を話してくれました。楠田市長は「子どもの頃から知っている桑野さんの活躍は何よりです。ぜひ来年も連覇してまた報告に来てほしいです」とお祝いと激励の言葉をかけました。



優勝の喜びを語った桑野さん(中央)